

結核・呼吸器感染症予防週間、非結核性抗酸菌症啓発週間 (9/24～9/30)

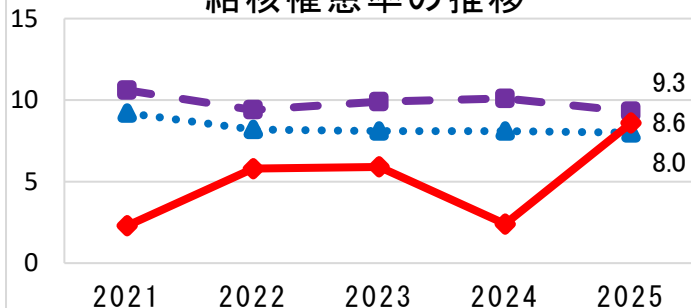
呼吸器疾患などの感染症に対する正しい理解を得るため、毎年9月24日～30日を「結核・呼吸器感染症予防週間」、「非結核性抗酸菌症啓発週間」と定め、普及啓発を行っています。

■結核(丹後管内の概要)

表1 新登録結核患者数(潜在性結核感染症を除く)

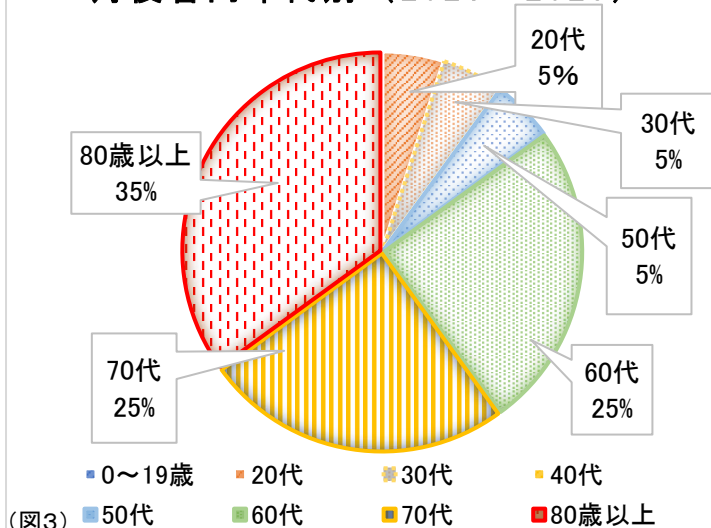
	2021	2022	2023	2024	2025
丹後	2	5	5	2	7
全国	11,519	10,235	10,096	10,051	9,899

結核罹患率の推移



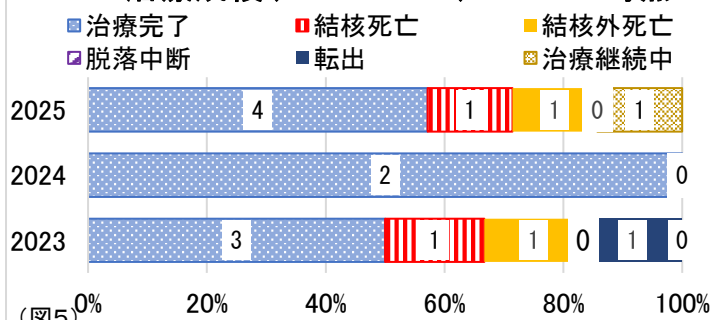
(図1) ●●● 全国 ■■■ 京都府 ◆◆◆ 丹後保健所

丹後管内年代別 (2021～2025)



(図3) ● 0～19歳 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80歳以上

治療成績(2023～2025) R8.8.31時点



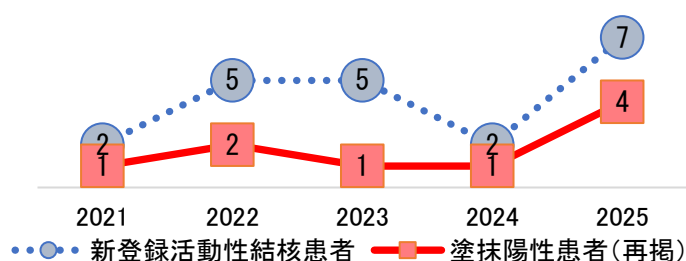
(図5) 0% 20% 40% 60% 80% 100%

結核患者の発生は全国的に減少傾向にあり、2025年の全国の新登録患者は9,899人でした(表1)。

丹後管内の結核罹患率(人口10万人対)は、2025年全国を上回りました。(図1)。

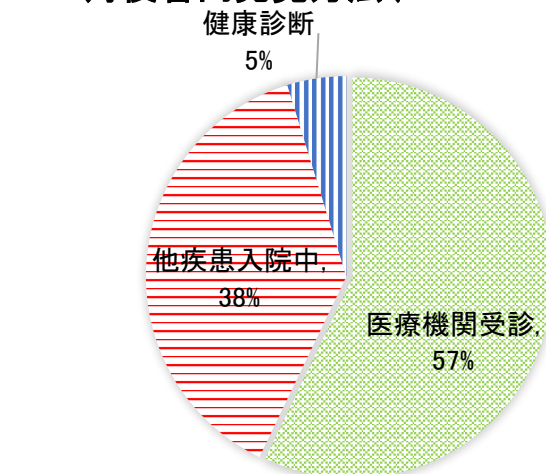
丹後管内の活動性結核患者は、2025年が7人、内塗抹陽性患者は4人でした(図2)。

丹後管内新登録活動性結核患者数 (2021～2025)



(図2)

丹後管内発見方法(2021～2025)



(図4)

丹後管内の結核患者は70歳以上が約6割を占めており、高齢者の発症が多い状況となっています(図3)。

結核患者の発見方法は医療機関受診と他疾患入院中、健康診断となっており、医療機関受診が半数を超えています(図4)。

治療成績は治療完了が22人中15人との多い結果でした。なお、基礎疾患のある高齢者の治療が難しい状況にあり、結核死亡と結核外死亡を合わせると5人でした(図5)。

■インフルエンザ、COVID-19【京都府・丹後管内の概要】2026年第15週～第36週

●京都府でインフルエンザが流行期に入りました

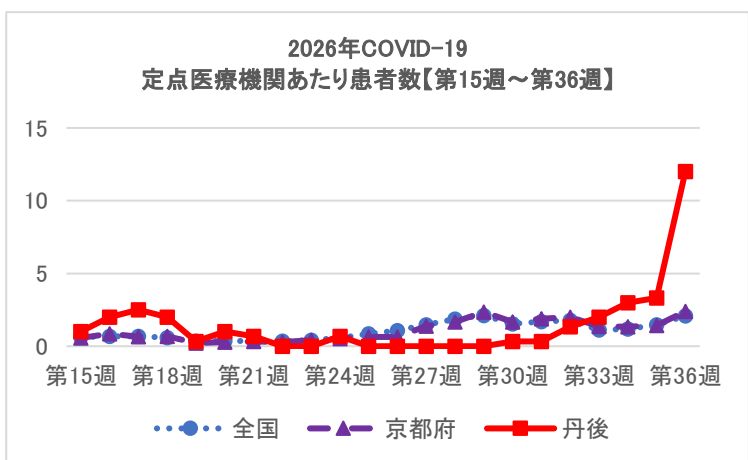
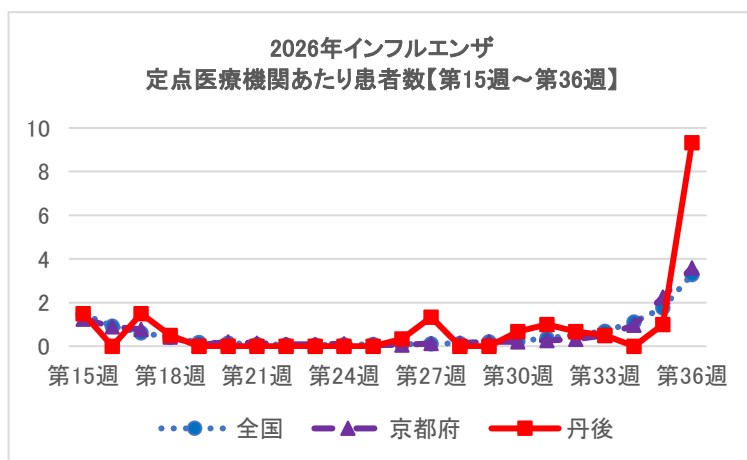
インフルエンザは例年、秋から冬に流行が始まり、冬にピークを迎え、春ごろに収束する流れを繰り返しています。京都府は、第35週(8月24日～30日)に流行開始の目安である定点あたり報告数1を超えて2.26に達し、全国から1週間遅れて流行期に入りました。

●丹後管内でCOVID-19の報告数が増加しています。

COVID-19は2023年5月8日に感染症法の位置付けを五類感染症に変更されて以降、夏季及び冬季に患者が増加する傾向があります。

2026年第15週以降は全国・京都府ともにピークを迎え、減少傾向にありましたが、丹後管内では第31週より報告が増加しているため、注意が必要です。

インフルエンザ、COVID-19ともに感染対策としては、外出後の手洗い、室内の換気、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取が有効です。



丹後保健所管内では、全国・京都府での報告数増加に遅れて報告数が増加することが多いです。

丹後保健所で毎週管内の感染症発生動向情報をホームページにて更新していますので、各機関の感染対策にご活用いただければと思います。[\(感染症発生動向／京都府ホームページ\)](#)

■非結核性抗酸菌症(NTM 症)

非結核性抗酸菌症は近年、患者数の増加が著しいですが、よく知られた疾患とは言えないため、今年度より、毎年9月24日から9月30日までの1週間が「非結核性抗酸菌症啓発週間」として制定されました。

非結核性抗酸菌症(NTM 症)とは

環境中に広く存在する非結核性抗酸菌(non-tuberculous mycobacteria: NTM)によって発生する感染症です。

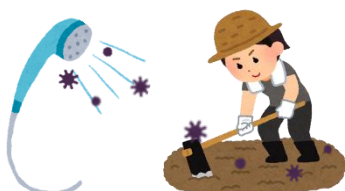
症状は、長引く咳、痰、発熱、呼吸困難が代表的ですが、初期には無症状で経過が緩やかな場合や、増悪と軽快を繰り返す場合もあり、進行速度や症状の出方は患者ごとに異なります。

NTMは土壌や水系などの自然環境や、浴室のシャワーヘッド、水道の蛇口等に生息しており、NTMを含むエアロゾルの吸入等により、肺内に取り込まれます。

NTMは環境中に広く存在するため感染を完全に予防することは困難です。

ヒトからヒトへは基本的に伝播しませんが、高齢者や基礎疾患のある方では発症しやすいことがあります。

長引く咳や痰などの症状がある場合には早めに医療機関を受診し、早期発見・早期治療につなげるのが重要です。



京都府丹後保健所(丹後広域振興局健康福祉部)

〒627-8570 京都府京丹後市峰山町丹波855

TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368

